

平井川へ

出かけよう!

～ 清流を求めて～



— 平井川流域連絡会 —

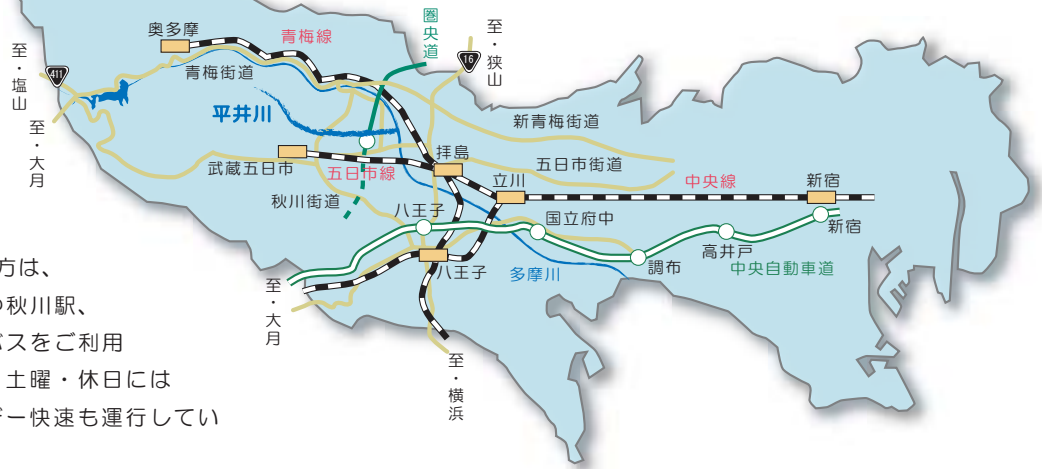
平井川の概要

平井川は、西多摩郡日の出山（標高902.3m）付近を源とし、流路を東南の方向に向け、北大久野川、玉の内川を合流して平地に入ります。この後流路をほぼ東の方向に変え、鯉川、氷沢川を合わせ、JR五日市線鉄橋付近で、多摩川に合流する河川延長約16.5km、流域面積約38.9km²の一級河川です。

平井川流域は、東京都の西端部に位置し、あきる野市と日の出町の1市1町にまたがり、都心から40～60km圏にあります。平井川の上流域は奥多摩山地で、沿川を除いて森林で占められています。一方、中・下流域は草花丘陵や秋留台地となっており、東京でも数少ない農村地帯でしたが、昭和40年頃から宅地化が進み、市街地が広がる傾向にあります。

水質は良好で、上流部にはキャンプができるなど川に親しめる施設があり、中～下流部においても河川に容易に近づくことができることから、上流から下流まで地域の人々に親しまれている河川です。

平井川へのアクセス



公共交通機関を利用される方は、五日市線の武蔵五日市駅や秋川駅、青梅線の福生駅などからバスをご利用ください。新宿駅からは、土曜・休日には青梅・五日市直通のホリデー快速も運行しています。

平井川流域の主な行事

- 1月 日の出山からの御来光（元旦）★ 平井川どんと焼き【さいの神】（中旬）◎★
寺社祭礼 秋川不動尊火渡り…西福寺（第3日曜）★
- 2月 寺社祭礼…（下旬）伊奈沢天神★
- 3月 寺社祭礼…（下旬）幸神社★
- 4月 サクラまつり（上中旬）★ フジまつり…北大久野フジ（下旬）★
寺社祭礼…長井八坂神社（15日に近い日曜）
- 5月 秋留台公園バラの見頃◎ 寺社祭礼…妙見宮例大祭（3日）★
- 6月 鮎釣り解禁◎★
- 7月 灯ろう流し…鹿の湯橋付近（16日）★
- 8月 ひまわりまつり★ 玉の内獅子舞…三嶋神社（第2土曜）★
- 9月 寺社祭礼…二宮神社（9日）◎ / 神明社（15日）◎ / 八幡社（15日）◎
/ 草花神社（9月下旬）◎ / 小宮神社（23日）◎ / 森山神社（最終日曜）◎
/ 八幡神社（29日に近い土日）★ 鳳凰の舞…春日神社（29日に近い土日）★
菅生の組立舞台の歌舞伎（最終日曜）◎

10月

11月

12月

お問い合わせ

◎：あきる野市環境経済部商工観光課観光推進係
〒197-0914 あきる野市二宮350
TEL 042-558-1893（直通）

★：日の出町経済課商工観光係
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042-597-0511（代表）



御来光



どんと焼き



鳳凰の舞

■ 平井川の自然

平井川の上流には、今も奥多摩山地の豊かな自然が残されており、ハイキングなどを楽しむことができます。また、宅地や農地に囲まれた下流にも、昔の自然の姿をとどめている場所が多くみられます。

1. 植物

川沿いにはオニグルミ林やケヤキ林が一部に残ります。河原にはツルヨシやオギ、ミソソバなどの草地在り、水辺にはショウブやマコモ、ミズなども見られます。

オニグルミ



山野の川沿いに生え、高さは約25mほどになります。5～6月に開花し、雄花は長く垂れ下がり、雌花は直立します。秋に実る果実の中の種子は食べられます。

ヒメザゼンソウ



湿った林の下でひっそりと咲く姿はザゼンソウに似ていますが、とても小さく高さは数cmしかありません。紫色の苞（ほう）の中に黄色い玉型の花を咲かせます。平井川では上流に生育している場所があります。

2. 陸上の生き物

水辺ではカワセミが魚を捕え、セキレイが虫を追う姿を見ることができます。ヨシ原には、カヤネズミが巣を作る場所があり、ササゴイも見られます。

ハクセキレイ



河川や農耕地などの水辺に近いところで見られます。歩き回りながら昆虫類を捕らえ、「チュンチュン」とやわらかい声で鳴きます。

カワセミ



淵などで魚を捕る姿が見られます。羽色が鮮やかで、翡翠（ひすい）のような体色から、飛ぶ宝石ともいわれ、その美しさは古くから注目されていました。

トウキョウサンショウウオ



丘陵地帯に生息し、山間の水田や湧き水の水溜りと、周囲の林床を主な繁殖や生活の場としています。普段は倒木や岩の下に隠れていますが、3～5月頃に繁殖し、水辺に集まります。

3. 水の中の生き物

川の中にはさまざまな昆虫が生息し、多くのトンボが観察できます。水中にはオイカワやウグイのほか、ギバチやジュズカケハゼ、ホトケドジョウなど最近では珍しくなった魚も住んでいます。

ジュズカケハゼ



全長5cmほどの小さいハゼです。産卵期は春で、雄が泥底に巣を掘り卵を保護しますが、雌に婚姻色が現れる変わった種類です。

ギバチ



上・中流域に生息し、全長25cm前後に成長します。胸びれのトゲと付け根の骨をすりあわせて「ギーギー」という音を出します。

オナガサナエ



成虫は6月下旬～9月に見られます。平地や丘陵地の中流域で、小石の多い川底に生息するトンボです。平井川には、ほかにハグロトンボやコオニヤンマなどが生息します。

平井川流域連絡会の紹介

自然を生かし、地域に息づく親しめる川とするためには、都民と行政が共通の認識に立ち、共同・連携して川づくりを進めていくことが大切です。こうした考えのもと、平成12年7月に、流域の住民や河川に関心を持ち活動している団体、市町および東京都が河川に関する情報や意見の交換ならびに提案を行うことを目的として、平井川流域連絡会を設置しました。当連絡会は現在24名の委員で運営しており、任期は2年です。また、住民の委員は地元あきる野市と日の出町の広報誌で公募して選出しています。

東京都では、地域の方々の関心が高いほかの河川でも、流域連絡会を設置しています。詳細については東京都建設局のホームページをご覧ください。

(<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/ryuiki/>)

行政計画

平井川流域では、農地や山林の宅地化などに伴い、流域の環境が変わり、流出量の増大による洪水の危険も高まっています。そのため、東京都では昭和57年度に多摩川合流点から岩井橋までの約11kmについて都市計画決定を行い、翌年度より1時間50mmの降雨でも安全に流れる河川整備を開始しました。必要な区間については今後とも整備を進めていきます。

河川整備にあたっては、残された貴重な自然空間を大切にするとともに、意見交換や提案の場である「平井川流域委員会」などを活用して、平井川らしい川づくりを進めていくことを目指しています。

また、西多摩建設事務所では、平成9年度から7月下旬の休日に、河川愛護意識の向上を目指して、市民参加の「平井川生物調査」を実施しています。



工事前



工事後

平井川を利用するときのマナー

子供たちがのびのびと遊べる、自然を生かし親しめる平井川を作っていくためには、みなさん一人ひとりの協力が必要です。

平井川を利用するときは、以下のマナーを守りましょう。

- ごみは必ず持ち帰りましょう。
- キャンプのときなど川で合成洗剤を使ったり、残飯などを捨てたりするのはやめましょう。
- 住民の方に迷惑をかけないようにしましょう。
- 川は多くの人が利用しているので、人のいる所では石などを投げないようにしましょう。
- 雨が降ったときや、また降っていなくても水量が増え、流れが速くなったら、すぐに川から離れましょう。
- 川で遊ぶときは、お互いに声を掛け合い、危険のないよう助け合いましょう。
- むやみに生き物を採ったり、外来種の生き物を放したりするのはやめましょう。

都民のふるさと ～西多摩の道・川・未来～

このパンフレットは、東京のなかでも比較的自然環境が保たれている平井川とその周辺を散策・利用する際の参考にさせていただいたらと願って作りました。

また、この機会に、平井川とその流域に関心を持っていただき、川を利用する際のモラルについても話し合っていただければ幸いです。

作成：平井川流域連絡会
(パンフレット作成分科会)

発行：東京都西多摩建設事務所

編集：株式会社環境指標生物

印刷：平成15年3月

連絡先：東京都建設局 西多摩建設事務所
工事第二課

〒198-0042

東京都青梅市東青梅3-20-1

電話：(代)0428-22-7211